SUWA

諏訪信用金庫
SUWA SHINKIN BANK

諏訪の景気動向

2025
8月

（2025年7月末D・I調査）

製造業 p2
米高関税合意、現時点では影響不明

商業 p4
物価上昇と猛暑で来店客数減少

観光・サービス業 p5
最盛期に好天で宿泊客数増加

建設業 p6
受注状況やや改善

今月のコラム
米雇用統計に思う

◀本誌の電子版はこちらから

八ヶ岳農業大学校

CONTENTS

概況……1
製造業……2
製造業 受注状況……3
商業……4
観光・サービス業……5
建設業……6
収益性状況……7
雇用状況……8
経営上の課題……8
諏訪地方主要経済指標……8
2025年7月の状況
- 自社の業況……9
- 諏訪地方の景況感……9
- 資金繰り……10
- 収益性……10
- 米高関税政策の影響……11
- 賃金……11

回答全社：業況判断DIの推移……12
調査概要……12
コラム「米雇用統計に思う」……13

お天気マーク（調査月から見た状況）

3ヵ月前（観光・サービス業は前年同期）に比べ、回答全社が10ポイント以上好転したか、3ヵ月前に好転して横ばいの時。

回答全社は好転しているものの、業種によって悪化企業もある時。

3ヵ月前（観光・サービス業は前年同期）に比べ、回答全社が0～9ポイントの好転または悪化か、3ヵ月前も同様で横這いの時。

回答全社が悪化しているものの、業種によって好転企業もある時。

3ヵ月前（観光・サービス業は前年同期）に比べ、回答全社が10ポイント以上悪化したか、3ヵ月前に悪化して横這いの時。

概況

2025年7月アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査による取りまとめ

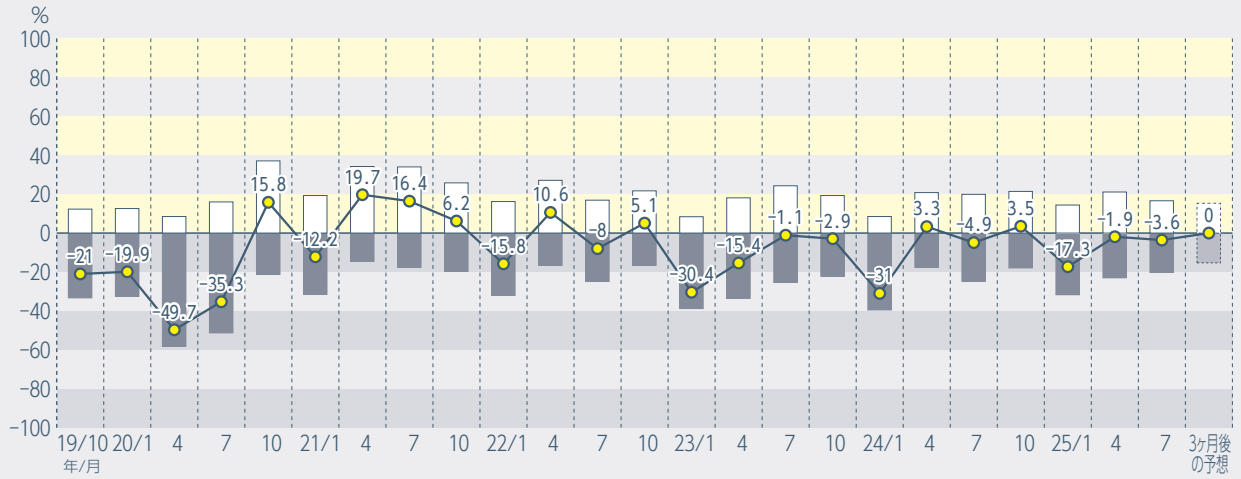
回答全社の「3ヵ月前」と比べた業況判断DIが△3.6で、前回調査時（2025年4月末、以下同）の△1.9から、1.7ポイント悪化した。「3ヵ月前」と比べた製造業の業況判断DIは△7.5で、前回の△9.9からやや改善した。非製造業（商業、観光・サービス業、建設業）の同DIは3.6で、前回の11.7から悪化した。「3ヵ月後」の業況予想DIは、製造業が前回の△17.8から△9.3へ改善し、非製造業も17.9で前回の△1.7から改善し、回答全社では0.0（前回△11.8）となった。

2025年7月は、上旬にトランプ米大統領が日本からのすべての輸入品に課す新たな相互関税の税率を25%にする書簡を出したが、下旬には15%で合意となる急な動きがあった。その合意を巡って、日米間に解釈の相違があり、先行き不透明感が残ったままの状態が続いた。地域企業にはすぐに変化は見られないが、今後影響が出てくる可能性がある。この間に、国内では参議院選挙が行われ、自公政権が過半数割れした。一方、7月の国内の平均気温は、1898年の気象庁の統計開始以降で最高となった。また、諏訪地方の新たな玄関口となる諏訪湖スマートインターチェンジが開通するなど、変化が大きい月だった。

●産業別業況表

	3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全体	163	16.6	63.2	20.2	-3.6	163	16.6	52.8	30.7	-14.1	163	15.3	69.3	15.3	0.0
製造業	107	15.9	60.7	23.4	-7.5	107	15.9	50.5	33.6	-17.7	107	10.3	70.1	19.6	-9.3
非製造業	56	17.9	67.9	14.3	3.6	56	17.9	57.1	25.0	-7.1	56	25.0	67.9	7.1	17.9
商業	26	15.4	57.7	26.9	-11.5	26	15.4	57.7	26.9	-11.5	26	26.9	65.4	7.7	19.2
建設業	20	15.0	80.0	5.0	10.0	20	20.0	45.0	35.0	-15.0	20	20.0	70.0	10.0	10.0
観光・サービス業	10	30.0	70.0	0.0	30.0	10	20.0	80.0	0.0	20.0	10	30.0	70.0	0.0	30.0

●回答全社：「3ヵ月前」と比べた業況判断DIの推移



製造業　業況

3ヵ月前との比較

「好転」企業は前回の14.9%から15.9%へやや増加し、「悪化」企業が24.8%から23.4%へやや減少した。トランプ関税の影響が大きい自動車関連は、日米合意による地域企業への影響はまだほとんどなく、世界的なハイブリット車の好調などで一定の受注を確保した。

3ヵ月後の予想

「好転」予想の企業は、前回の11.9%から10.3%へやや減少し、「悪化」予想の企業も前回の29.7%から19.6%へ減少した。米高関税合意に関しては、まだ取引先企業などからの通知がない状況で、自社への影響が不透明なため、73.8%の企業は何らかの影響を予想しつつ、推移を見守っている。

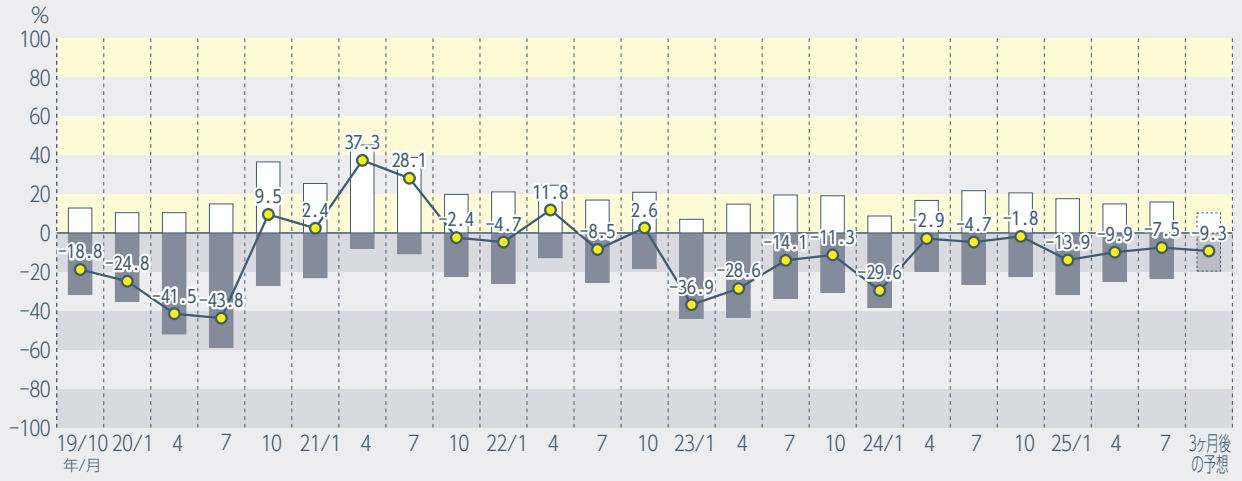
総体的な状況

米国の高関税を巡る日米交渉が難航し、動きが取れなかった懸案は急転、一応の合意に至った。ただ、内外経済への影響は依然、不確実性があり、対処が難しい状況が続いている。すでに25%が上乗せされて27.5%になっていた日本車への関税は15%に下がり、大幅削減したように見えるが、従来の2.5%の6倍であり、日系メーカーへの打撃は引き続き大きい。中小企業には、対米輸出が落ち込む大手企業からの受注が減少するなどの懸念があり予断を許さない。関税への対応は、現段階では大手メーカーが背負い、下請けの部品製造業者にはコストダウン要請は少ない。国内景気への影響が本格的に見えてくるのは今秋以降と見られ、地域企業は先行きへの警戒感の中で身構えている。

企業のひとこと

- ●トランプ関税も気になるが、国内経済の悪化が深刻。国内生産も単価が厳しくなり、中国で生産するより安い業者が増えている（金属製品製造業）。
- ●最低賃金の引上げは、地方の中小企業には厳しい。賃金水準で社員の出入りが激しく、給料次第で転職する動きが目立つ（金属製品製造業）。
- ●自動車関係の関税は、親会社からは今後の計画や予定はまだ何も伝えられず、物流がどうなっていくかは未定。先送りになっている製品もどうなるかは不透明で、不安要素は多い（輸送機械製造業）。
- ●我々の中小企業程度では、どれが海外向け部品なのか国内向け部品なのか判別がつかず、材料費だけが高騰して利幅が減っているのみ（輸送機械製造業）。
- ●全国の同業者が、仕事量の激減であえいでいるという話しか聞かない。こんな状況でも底は来年という大方の見立てで、どのくらいの業者が生き残れるだろうか（繊維製品製造業）。
- ●原材料高騰が尋常でなく、とても価格転嫁できるレベルではない（電気機械製造業）。
- ●トランプ関税導入前の駆け込み需要の様相があり、8月以降の雲行きが怪しくなってきた（精密機械製造業）。

●製造業：「3ヵ月前」と比べた業況判断DIの推移



製造業　受注状況

3ヵ月前との比較

受注状況DIは△6.6で、前回調査時の△15.8から改善した。規模別DIは、「1～29人企業」は△8.9で前回の△28.0から改善した。「30～99人企業」は0.0で前回の△13.5から改善した。一方、「100人以上企業」は△13.4で前回の21.4から悪化した。業種別（主要5業種）では、「金属製品」が△7.4から2.9、「一般機械」は△24.0から△21.7、「輸送用機械」は△50.0から△20.0、「電気機械」は△23.9から4.8と改善したが、「精密機械」は△22.2から△33.4と悪化した。外注発注量DIは、前回の△12.9から△8.4へやや改善している。

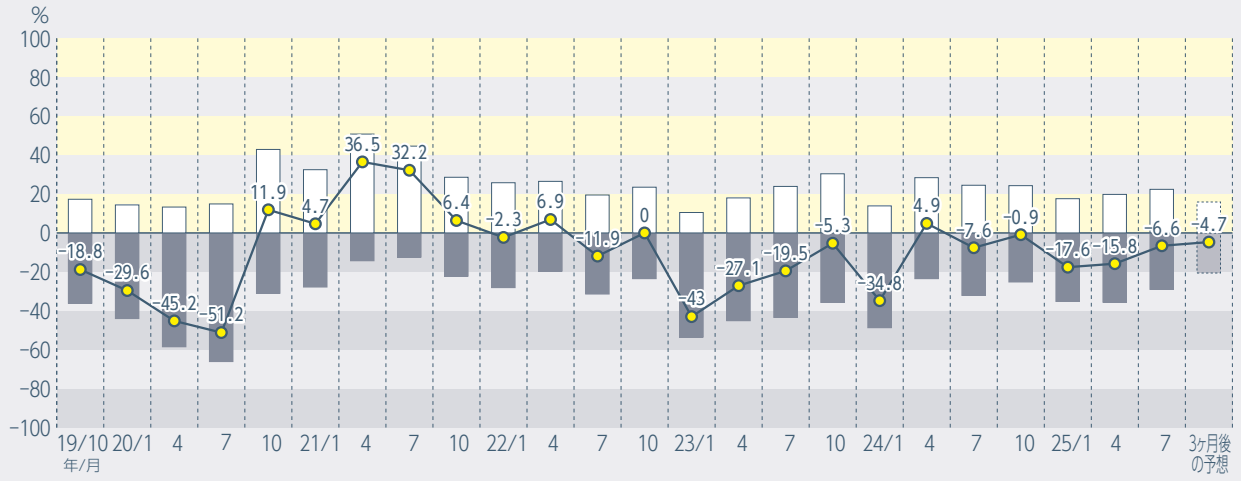
3ヵ月後の予想

製造業全体の受注予想DIは△4.7で、前回の△18.8から改善した。規模別では「1～29人企業」が△7.1で前回の△24.0から改善した。「30～99人企業」は前回の△13.5から0.0へ改善し、「100人以上企業」は△14.3から△6.6へ改善した。業種別（主要5業種）では、「輸送用機械」が△60.0から△30.0、「金属製品」が△22.2から△2.9、「電気機械」は△14.3から4.8、「精密機械」は△22.2から△11.1へ改善したが、「一般機械」は△12.0から△13.0へ悪化した。地域企業にとって、米国の高関税政策の影響は依然、不透明な状況が続いている。

●業種別・規模別受注状況表

		3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想				
		回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI
製造業		107	22.4	48.6	29.0	-6.6	107	22.4	40.2	37.4	-15.0	107	15.9	63.6	20.6	-4.7
規模	1～29人	56	26.8	37.5	35.7	-8.9	56	26.8	33.9	39.3	-12.5	56	17.9	57.1	25.0	-7.1
	30～99人	36	19.4	61.1	19.4	0.0	36	19.4	44.4	36.1	-16.7	36	16.7	66.7	16.7	0.0
	100人～	15	13.3	60.0	26.7	-13.4	15	13.3	53.3	33.3	-20.0	15	6.7	80.0	13.3	-6.6
中分類	金属製品製造業	35	22.9	57.1	20.0	2.9	35	25.7	51.4	22.9	2.8	35	11.4	74.3	14.3	-2.9
	一般機械製造業	23	17.4	43.5	39.1	-21.7	23	8.7	47.8	43.5	-34.8	23	8.7	69.6	21.7	-13.0
	電気機械器具製造業	21	28.6	47.6	23.8	4.8	21	23.8	28.6	47.6	-23.8	21	28.6	47.6	23.8	4.8
	輸送用機械器具製造業	10	10.0	60.0	30.0	-20.0	10	20.0	40.0	40.0	-20.0	10	0.0	70.0	30.0	-30.0
	精密機械器具製造業	9	22.2	22.2	55.6	-33.4	9	33.3	22.2	44.4	-11.1	9	22.2	44.4	33.3	-11.1

●製造業：「3ヵ月前」と比べた受注状況DIの推移



商　業

3ヵ月前との比較

業況判断DIは△11.5で、前回の15.4から悪化した。前回は歓迎会などで飲食店の売上が伸びたが、値上げによる売上の増加効果が薄れつつある中で、物価上昇の影響が大きく、来店客数DIが前回の△7.7から△15.4へ悪化した。収益性DIも0.0から△23.1へ悪化し、資金繰りDIは3.8から△15.4へ悪化した。

3ヵ月後の予想

業況予想DIは、「好転」予想の企業が、「悪化」予想の企業を上回り、前回の△19.2から19.2へ改善した。客単価DIが前回の15.4から30.8へ上昇し、売上DIも好転予想が多い。来店客数DIは前回の△7.7から19.3へ改善し、好転予想が増えた。労働力DIも0.0から3.8へやや改善傾向となった。

■スーパー

生鮮部門（鮮魚、精肉、青果）は好調だが、精肉は国産、輸入品ともに値上げが続く。今後も食料品の値上げが予想され、買い控えが懸念される。

■自動車販売

諏訪地方の7月の車庫証明件数は959件で、前年同月比48件、4.7%減少した。

■生花店

盆の切り花に向けて生産者は活況で、猛暑が心配されたが、品数・品質ともに良かった。

■飲食店

夏祭りなどのイベントや盆時期の予約が好調。暑さによる来店客数減少に対し、冷やし系のメニューを強化している。

■靴店

日本製の革でできたサンダルや、手を使わずに履けるスニーカーなどが好調だった。

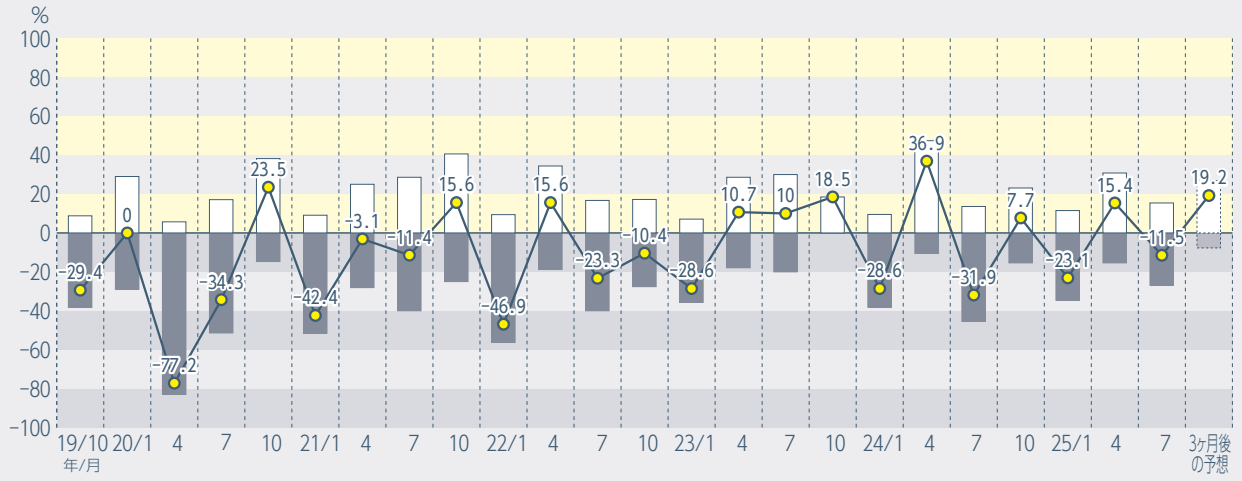
■野菜直売所

天候が良いことで、来店客数は好調に推移した。夏野菜の高温障害が懸念される。

企業のひとこと

- ●顧客の高齢化が進んでおり、今後免許返納等による需要低下が危惧される（自動車販売店）。
- ●景気低迷などで、地元の固定客の来店頻度が減少している。物価高騰、仕入れ原価も上昇しており、売れ筋商品を中心としたメニューの見直しを検討している（飲食店）。
- ●料理やダイエットなどのハウトゥー本は、WEBの影響で全く売れなくなった（書店）。
- ●米国関税は常に気にかけている。いつ影響が出るか分からない状況で、肝を冷やしている（小売店）。
- ●仮にアメリカ車が国内でも出回るようになると、タイヤやボルトの位置、サイズが全く違うため両方扱うのは難しい。日本として対応できないことは、数知れずあるのではないか（タイヤ販売）。

●商業全社：「3ヵ月前」と比べた業況判断DIの推移



観光・サービス業

前年同期との比較

前回と比べ、業況判断DIが7.7から20.0へ改善した。トップシーズンとなり、宿泊客数DIは減少がなく、前回の0.0から40.0へ改善した。7月は好天が続き、高原では三連休を中心に、順調な集客ができた宿泊施設が多い。修学旅行など、団体バスでの観光も増加してきている。

3ヵ月後の予想

業況予想DIは悪化予想の企業がなく、前回の30.8から30.0と好調を維持している。客単価DIや宿泊客数予想DIも前回同様、高水準を維持している。秋の行楽シーズンも前年並みで推移する見通し。中央道・諏訪湖スマートICが供用開始となり、新たな観光客の増加が期待されている。

■上諏訪温泉

諏訪湖温泉旅館組合加盟14施設中、8施設が前年同月比プラスだった。7月の客室稼働率は80.2%（前年79.4%）。インバウンドも引続き順調だが、長野県内からの顧客が減少している。予約状況は盆までは満室状態だが、9月の予約状況はやや低調になっている。

■下諏訪温泉

各施設の売上は、コロナ前にほぼ戻ってきている。泊食分離の傾向が強くなってきている。

■蓼科・白樺湖・富士見高原

夏休みが始まった7月後半から、各地の観光施設では駐車場が満車となる日が多く、ファミリー層の来客が目立った。学生の合宿もあり、前年以上の売上となった宿泊施設が多い。他の観光地に比べ、インバウンドは少なかった。

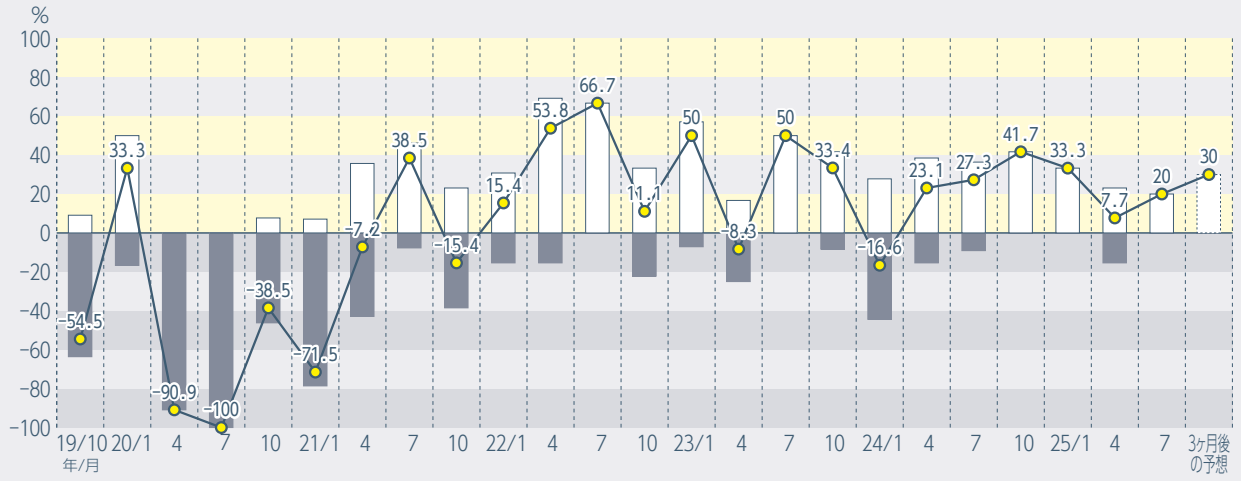
■諏訪大社

上社・下社合わせた7月の参拝者数は、約87,000人だった。前年同月比約10,000人、12.7%増加した。境内をライトアップした「夏詣」が行われた。

企業のひとこと

- ●全国的な猛暑の影響で、避暑地の観光施設が選ばれている。パターゴルフやドッグラン等屋外施設の利用が好調だった（観光施設）。
- ●引き続きインバウンド需要は旺盛で、外国人の場合連泊での利用が多い（宿泊施設）。
- ●以前に比べて問い合わせは多くなってきているが、旅行自体の規模は小さくなってきている。インバウンド需要は依然として好調であり観光バス、ホテル等手配は難しくなっている。宿泊料金が高騰していることもあり、今までの観光に加えて体験等の企画を盛り込まないと採用されなくなってきている。日帰り旅行の需要が引き続き顕著（旅行代理店）。

●観光・サービス業全社：「前年同期」と比べた業況判断DIの推移



建設業

3ヵ月前との比較

業況判断DIは「横ばい」が多いが、「好転」が15.0%、「悪化」が5.0%で10.0となり、前回の△14.3から改善した。受注状況DIは前回の0.0から15.0、外注発注量DIは前回の△14.3から10.0へそれぞれ改善した。首都圏からの移住希望者を中心に、リフォームのニーズが旺盛。

3ヵ月後の予想

業況判断予想DIは70%が「横ばい」だが、「好転」20.0%、「悪化」10.0%の10.0で、前回の0.0から改善した。受注予想DIは前回の△14.3から5.0に改善している。ただ、業界では最低賃金の引上げによる収益圧迫、人員確保、下請け業者の高齢化などが課題となっている。

■6月の新設住宅着工戸数

諏訪地方の合計は100戸で、前年同月比18戸減少（△15.2%）した。持家は4戸減少の47戸、貸家は6戸減少の48戸、分譲は8戸減少の5戸だった。2025年4月～6月の累計着工戸数は245戸で、前年同期比59戸減少（△19.4%）した。長野県全体は746戸で、前年同月比25.0%減少した。

■7月の諏訪地方市町村からの受注状況

建築工事4件61百万円、土木・水道工事66件1,035百万円、その他工事19件155百万円の合計89件1,252百万円だった。前年同月比で、件数は20件、契約金額は140百万円増加（12.7%）した。

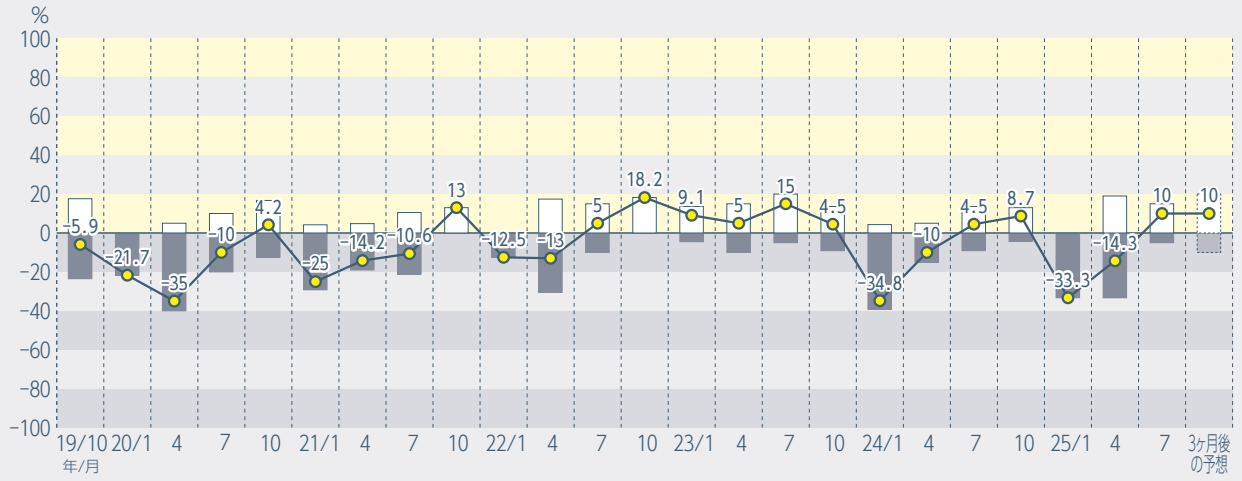
■7月の地元企業が受注した国県関係の公共工事

合計14件1,010百万円で、前年同月比で件数は1件増加し、契約金額は237百万円減少（△19.0%）した。2025年4月～7月の累計は36件2,169百万円で、前年同期比で件数は1件増加したが、契約金額は1,714円減少（△44.1%）した。2025年度予算の工事発注が本格化し、応札者数が多くなり、落札が困難な状況になっている。

企業のひとこと

- ●ある入札の参加者は、県内外の大手ゼネコンが中心で、地区内参加は自社のみだったが、技術力評価点が高く落札できた。今回の実績で、次の受注につながる可能性が高くなった。
- ●今後控えている大口公共事業に備え、人員の温存をせざるを得ない状況で、人手不足の影響が顕著に出ている。
- ●多忙な状況が続いていたが、新築工事の完成引き渡しがあり一段落し、これまで手が回らなかったリフォーム工事に注力している。
- ●建築の坪単価はもう下がることはない。施主も大変だが、業者も決して儲かる訳ではない。
- ●熱中症対策に頭を悩ましている。大事な社員を守るのは当然であり、この異常気象で確実に生産性は低下。工期との板挟みになっている。

●建設業全社：「3ヵ月前」と比べた業況判断DIの推移



収益性状況

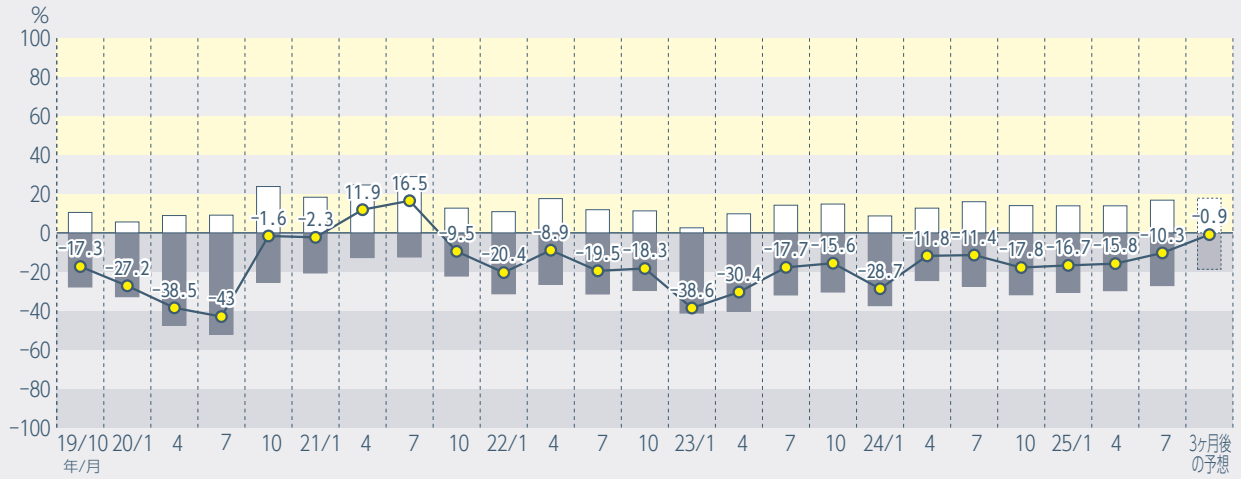
3ヵ月前との比較

回答全社の収益性判断DIは「好転」13.5%、「悪化」23.3%の△9.8で、前回調査時の△11.2からやや改善した。製造業は△10.3で、前回の△15.8から改善した。非製造業は「好転」7.1%、「悪化」16.1%の△9.0で、前回の△3.3から悪化した。観光・サービス業は全回答が「横ばい」だった。多くの企業で、原材料やエネルギー高、賃金上昇など収益を圧迫する要因が継続している。

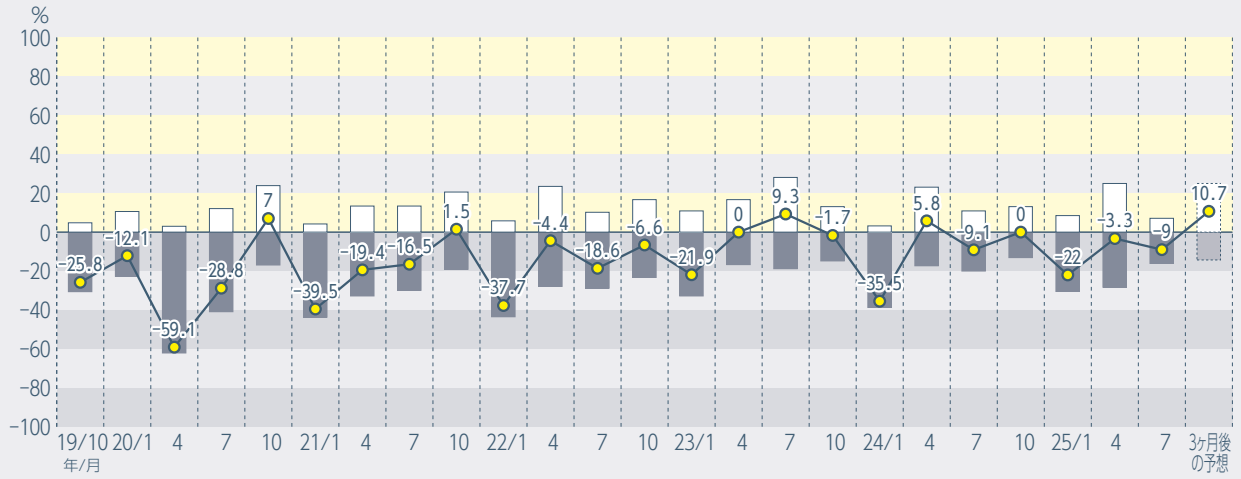
3ヵ月後の予想

回答全社の収益性予想DIは「好転」20.2%、「悪化」17.2%の3.0で、前回の△17.4から改善した。前回「悪化」予想が大幅に上回った製造業は△0.9で、前回の△21.8から改善した。非製造業も10.7で前回の△10.0から改善した。悪化予想がなく、好転予想が50%の観光・サービス業が全体を押し上げている。日米の合意はあったが、トランプ関税の中小企業の懸念は残っている。

●製造業：3ヵ月前と比べた収益性DI



●非製造業：3ヵ月前と比べた収益性DI



雇用状況

2025年6月の諏訪地方の有効求人倍率は、前年同月を0.04ポイント下回り、前月を0.04ポイント上回る1.21倍だった。30ヵ月連続で前年同月を下回った。県内は前月比0.01ポイント低下の1.26倍で、製造業では中国の景気減速や米国関税による不透明感から、求人を控える動きがある。全国の有効求人倍率は、前月から0.02ポイント低下の1.22倍で、完全失業率は前月と同じ2.5%だった。

諏訪地方は、新規求人数が1,339人で、前年同月比85人増加（6.8%）した。新規求職者数は628人で、前年同月比77人増加（14.0%）した。有効求職者数は前年同月比3.1%増加し、17ヵ月連続のマイナスから増加に転じた。60歳以上の求職が多く、物価高の影響などが考えられている。産業別の前年同月比の新規求人数は、「宿泊業・飲食サービス業」35.1%、「製造業」13.3%などの業種が増加し、「教育・学習支援業」が△38.5%、「医療・福祉業」が△11.3%と減少した。1件10人以上の人員整理はなかった。

経営上の課題（3つまでの複数回答）

経営上の課題として①製造業は売上減少と労働力確保②商業は労働力確保と人件費③建設業は労働力確保と人件費④観光・サービス業は労働力確保と人件費だった。「労働力確保」が依然多いが、人件費や売上減少、資金繰りも増加しつつある。

経営上の課題	合　計	製造業	商　業	建設業	観光・サービス業
売上減少	76	58	10	6	2
単価引下げ	15	13	0	2	0
競争激化	30	18	8	3	1
資金繰り	39	26	7	3	3
人件費	72	45	12	9	6
労働力確保	80	47	13	14	6

諏訪地方主要経済指標

		実　数	前年同期比
有効求人倍率【6月】ハローワーク諏訪管内		1.21倍	△0.04ポイント
国県公共工事【7月】（税抜・地元企業受注分）	件　数	14件	1件
	金　額	1,010百万円	△237百万円
6市町村公共工事受注【7月】（税抜・業務委託除く）	件　数	89件	20件
	金　額	1,252百万円	140百万円
車庫証明件数【7月】（諏訪地方合計）		959件	△4.7%
新設住宅着工件数【2025年4月～6月（諏訪管内）】		245戸	△19.4%

2025年7月の状況（企業%）　●自社の業況　●諏訪地方の景況感

●自社の業況

		3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想				
		回答企業数	好転	横這	悪化	DI	回答企業数	好転	横這	悪化	DI	回答企業数	好転	横這	悪化	DI
全体		163	16.6	63.2	20.2	-3.6	163	16.6	52.8	30.7	-14.1	163	15.3	69.3	15.3	0.0
製造業		107	15.9	60.7	23.4	-7.5	107	15.9	50.5	33.6	-17.7	107	10.3	70.1	19.6	-9.3
規模	1～29人	56	17.9	53.6	28.6	-10.7	56	17.9	50.0	32.1	-14.2	56	10.7	66.1	23.2	-12.5
	30～99人	36	13.9	63.9	22.2	-8.3	36	13.9	47.2	38.9	-25.0	36	13.9	69.4	16.7	-2.8
	100人～	15	13.3	80.0	6.7	6.6	15	13.3	60.0	26.7	-13.4	15	0.0	86.7	13.3	-13.3
中分類	金属製品製造業	35	17.1	68.6	14.3	2.8	35	14.3	68.6	17.1	-2.8	35	8.6	74.3	17.1	-8.5
	一般機械製造業	23	8.7	56.5	34.8	-26.1	23	4.3	52.2	43.5	-39.2	23	8.7	65.2	26.1	-17.4
	電気機械器具製造業	21	19.0	61.9	19.0	0.0	21	23.8	33.3	42.9	-19.1	21	19.0	66.7	14.3	4.7
	輸送用機械器具製造業	10	10.0	60.0	30.0	-20.0	10	20.0	50.0	30.0	-10.0	10	0.0	80.0	20.0	-20.0
	精密機械器具製造業	9	11.1	55.6	33.3	-22.2	9	22.2	44.4	33.3	-11.1	9	0.0	66.7	33.3	-33.3
非製造業		56	17.9	67.9	14.3	3.6	56	17.9	57.1	25.0	-7.1	56	25.0	67.9	7.1	17.9
商業		26	15.4	57.7	26.9	-11.5	26	15.4	57.7	26.9	-11.5	26	26.9	65.4	7.7	19.2
建設業		20	15.0	80.0	5.0	10.0	20	20.0	45.0	35.0	-15.0	20	20.0	70.0	10.0	10.0
観光・サービス業		10	30.0	70.0	0.0	30.0	10	20.0	80.0	0.0	20.0	10	30.0	70.0	0.0	30.0

●諏訪地方の景況感

		3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想				
		回答企業数	上昇	不変	低下	DI	回答企業数	上昇	不変	低下	DI	回答企業数	上昇	不変	低下	DI
全体		163	1.8	55.8	42.3	-40.5	163	2.5	48.5	49.1	-46.6	163	2.5	63.8	33.7	-31.2
製造業		107	1.9	48.6	49.5	-47.6	107	2.8	40.2	57.0	-54.2	107	1.9	60.7	37.4	-35.5
規模	1～29人	56	1.8	42.9	55.4	-53.6	56	1.8	37.5	60.7	-58.9	56	0.0	60.7	39.3	-39.3
	30～99人	36	2.8	58.3	38.9	-36.1	36	5.6	41.7	52.8	-47.2	36	2.8	69.4	27.8	-25.0
	100人～	15	0.0	46.7	53.3	-53.3	15	0.0	46.7	53.3	-53.3	15	6.7	40.0	53.3	-46.6
中分類	金属製品製造業	35	5.7	48.6	45.7	-40.0	35	2.9	48.6	48.6	-45.7	35	0.0	74.3	25.7	-25.7
	一般機械製造業	23	0.0	52.2	47.8	-47.8	23	0.0	43.5	56.5	-56.5	23	0.0	47.8	52.2	-52.2
	電気機械器具製造業	21	0.0	66.7	33.3	-33.3	21	9.5	28.6	61.9	-52.4	21	4.8	61.9	33.3	-28.5
	輸送用機械器具製造業	10	0.0	30.0	70.0	-70.0	10	0.0	30.0	70.0	-70.0	10	10.0	60.0	30.0	-20.0
	精密機械器具製造業	9	0.0	22.2	77.8	-77.8	9	0.0	33.3	66.7	-66.7	9	0.0	33.3	66.7	-66.7
非製造業		56	1.8	69.6	28.6	-26.8	56	1.8	64.3	33.9	-32.1	56	3.6	69.6	26.8	-23.2
商業		26	0.0	53.8	46.2	-46.2	26	0.0	57.7	42.3	-42.3	26	7.7	61.5	30.8	-23.1
建設業		20	0.0	85.0	15.0	-15.0	20	0.0	70.0	30.0	-30.0	20	0.0	70.0	30.0	-30.0
観光・サービス業		10	10.0	80.0	10.0	0.0	10	10.0	70.0	20.0	-10.0	10	0.0	90.0	10.0	-10.0

2025年7月の状況（企業%）　●資金繰り　●収益性

●資金繰り

		3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想				
		回答企業数	好転	横這	悪化	DI	回答企業数	好転	横這	悪化	DI	回答企業数	好転	横這	悪化	DI
全体		163	6.7	74.8	18.4	-11.7	163	10.4	68.1	21.5	-11.1	163	9.2	76.1	14.7	-5.5
製造業		107	8.4	72.9	18.7	-10.3	107	11.2	64.5	24.3	-13.1	107	7.5	75.7	16.8	-9.3
規模	1～29人	56	8.9	64.3	26.8	-17.9	56	10.7	58.9	30.4	-19.7	56	8.9	69.6	21.4	-12.5
	30～99人	36	11.1	80.6	8.3	2.8	36	16.7	63.9	19.4	-2.7	36	8.3	80.6	11.1	-2.8
	100人～	15	0.0	86.7	13.3	-13.3	15	0.0	86.7	13.3	-13.3	15	0.0	86.7	13.3	-13.3
中分類	金属製品製造業	35	5.7	82.9	11.4	-5.7	35	8.6	74.3	17.1	-8.5	35	8.6	74.3	17.1	-8.5
	一般機械製造業	23	8.7	73.9	17.4	-8.7	23	8.7	69.6	21.7	-13.0	23	0.0	87.0	13.0	-13.0
	電気機械器具製造業	21	14.3	71.4	14.3	0.0	21	14.3	57.1	28.6	-14.3	21	4.8	76.2	19.0	-14.2
	輸送用機械器具製造業	10	0.0	60.0	40.0	-40.0	10	0.0	70.0	30.0	-30.0	10	0.0	70.0	30.0	-30.0
	精密機械器具製造業	9	11.1	66.7	22.2	-11.1	9	22.2	44.4	33.3	-11.1	9	11.1	66.7	22.2	-11.1
非製造業		56	3.6	78.6	17.9	-14.3	56	8.9	75.0	16.1	-7.2	56	12.5	76.8	10.7	1.8
商業		26	7.7	69.2	23.1	-15.4	26	3.8	80.8	15.4	-11.6	26	7.7	80.8	11.5	-3.8
建設業		20	0.0	90.0	10.0	-10.0	20	15.0	70.0	15.0	0.0	20	15.0	70.0	15.0	0.0
観光・サービス業		10	0.0	80.0	20.0	-20.0	10	10.0	70.0	20.0	-10.0	10	20.0	80.0	0.0	20.0

●収益性

		3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想				
		回答企業数	好転	横這	悪化	DI	回答企業数	好転	横這	悪化	DI	回答企業数	好転	横這	悪化	DI
全体		163	13.5	63.2	23.3	-9.8	163	14.1	54.6	31.3	-17.2	163	20.2	62.6	17.2	3.0
製造業		107	16.8	56.1	27.1	-10.3	107	15.0	51.4	33.6	-18.6	107	17.8	63.6	18.7	-0.9
規模	1～29人	56	17.9	51.8	30.4	-12.5	56	14.3	57.1	28.6	-14.3	56	17.9	66.1	16.1	1.8
	30～99人	36	19.4	58.3	22.2	-2.8	36	16.7	44.4	38.9	-22.2	36	22.2	55.6	22.2	0.0
	100人～	15	6.7	66.7	26.7	-20.0	15	13.3	46.7	40.0	-26.7	15	6.7	73.3	20.0	-13.3
中分類	金属製品製造業	35	17.1	65.7	17.1	0.0	35	8.6	68.6	22.9	-14.3	35	14.3	65.7	20.0	-5.7
	一般機械製造業	23	13.0	56.5	30.4	-17.4	23	8.7	52.2	39.1	-30.4	23	13.0	65.2	21.7	-8.7
	電気機械器具製造業	21	19.0	57.1	23.8	-4.8	21	23.8	33.3	42.9	-19.1	21	23.8	66.7	9.5	14.3
	輸送用機械器具製造業	10	10.0	40.0	50.0	-40.0	10	10.0	30.0	60.0	-50.0	10	10.0	60.0	30.0	-20.0
	精密機械器具製造業	9	22.2	44.4	33.3	-11.1	9	22.2	55.6	22.2	0.0	9	22.2	44.4	33.3	-11.1
非製造業		56	7.1	76.8	16.1	-9.0	56	12.5	60.7	26.8	-14.3	56	25.0	60.7	14.3	10.7
商業		26	3.8	69.2	26.9	-23.1	26	7.7	65.4	26.9	-19.2	26	26.9	61.5	11.5	15.4
建設業		20	15.0	75.0	10.0	5.0	20	15.0	45.0	40.0	-25.0	20	10.0	65.0	25.0	-15.0
観光・サービス業		10	0.0	100.0	0.0	0.0	10	20.0	80.0	0.0	20.0	10	50.0	50.0	0.0	50.0

2025年7月の状況（企業%）　●米高関税政策の影響　●賃金

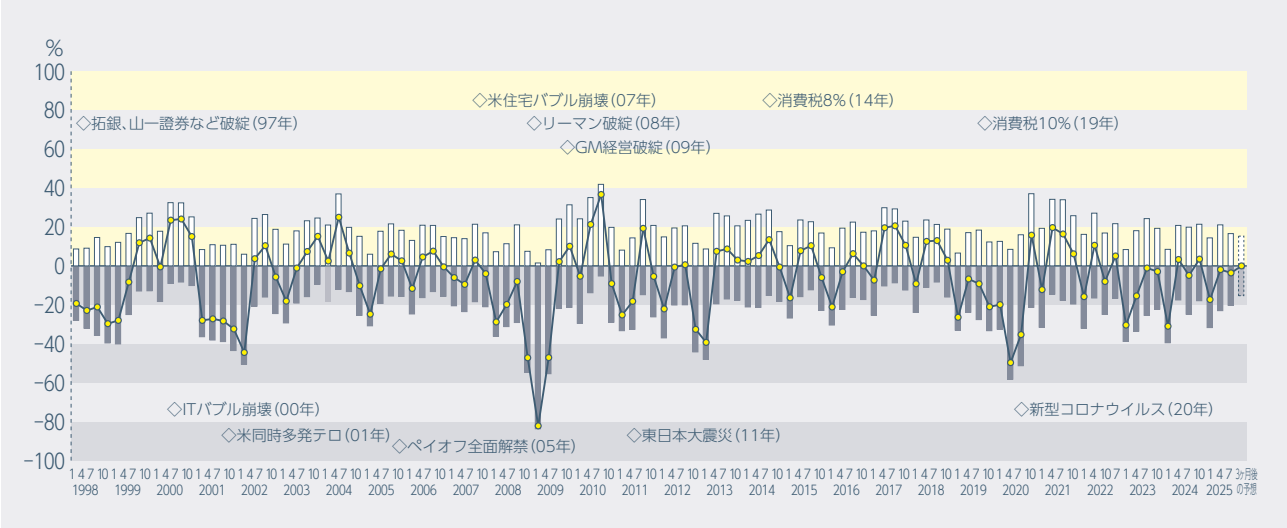
●米高関税政策の影響

		3ヵ月前と比べて				前年同期と比べて				3ヵ月後の予想			
		回答企業数	多大	多少	なし	回答企業数	多大	多少	なし	回答企業数	多大	多少	なし
全体		163	3.7	52.1	44.2	163	5.5	50.9	43.6	163	8.6	63.8	27.6
製造業		107	5.6	56.1	38.3	107	8.4	55.1	36.4	107	13.1	60.7	26.2
規模	1～29人	56	7.1	51.8	41.1	56	7.1	51.8	41.1	56	16.1	50.0	33.9
	30～99人	36	2.8	61.1	36.1	36	8.3	58.3	33.3	36	5.6	75.0	19.4
	100人～	15	6.7	60.0	33.3	15	13.3	60.0	26.7	15	20.0	66.7	13.3
中分類	金属製品製造業	35	5.7	62.9	31.4	35	8.6	60.0	31.4	35	11.4	65.7	22.9
	一般機械製造業	23	13.0	60.9	26.1	23	17.4	60.9	21.7	23	17.4	60.9	21.7
	電気機械器具製造業	21	4.8	66.7	28.6	21	4.8	66.7	28.6	21	23.8	61.9	14.3
	輸送用機械器具製造業	10	0.0	50.0	50.0	10	0.0	50.0	50.0	10	10.0	70.0	20.0
	精密機械器具製造業	9	0.0	44.4	55.6	9	11.1	33.3	55.6	9	0.0	55.6	44.4
非製造業		56	0.0	44.6	55.4	56	0.0	42.9	57.1	56	0.0	69.6	30.4
商業		26	0.0	38.5	61.5	26	0.0	34.6	65.4	26	0.0	57.7	42.3
建設業		20	0.0	55.0	45.0	20	0.0	55.0	45.0	20	0.0	80.0	20.0
観光・サービス業		10	0.0	40.0	60.0	10	0.0	40.0	60.0	10	0.0	80.0	20.0

●賃金

		3ヵ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヵ月後の予想				
		回答企業数	増加	不変	減少	DI	回答企業数	増加	不変	減少	DI	回答企業数	増加	不変	減少	DI
全体		163	37.4	58.9	3.7	33.7	163	57.1	39.3	3.7	53.4	163	16.0	80.4	3.7	12.3
製造業		107	39.3	57.9	2.8	36.5	107	59.8	35.5	4.7	55.1	107	11.2	85.0	3.7	7.5
規模	1～29人	56	41.1	53.6	5.4	35.7	56	53.6	39.3	7.1	46.5	56	8.9	83.9	7.1	1.8
	30～99人	36	36.1	63.9	0.0	36.1	36	66.7	30.6	2.8	63.9	36	19.4	80.6	0.0	19.4
	100人～	15	40.0	60.0	0.0	40.0	15	66.7	33.3	0.0	66.7	15	0.0	100.0	0.0	0.0
中分類	金属製品製造業	35	42.9	54.3	2.9	40.0	35	68.6	28.6	2.9	65.7	35	11.4	82.9	5.7	5.7
	一般機械製造業	23	39.1	56.5	4.3	34.8	23	52.2	39.1	8.7	43.5	23	21.7	69.6	8.7	13.0
	電気機械器具製造業	21	28.6	71.4	0.0	28.6	21	52.4	42.9	4.8	47.6	21	9.5	90.5	0.0	9.5
	輸送用機械器具製造業	10	40.0	50.0	10.0	30.0	10	70.0	30.0	0.0	70.0	10	0.0	100.0	0.0	0.0
	精密機械器具製造業	9	55.6	44.4	0.0	55.6	9	66.7	22.2	11.1	55.6	9	0.0	100.0	0.0	0.0
非製造業		56	33.9	60.7	5.4	28.5	56	51.8	46.4	1.8	50.0	56	25.0	71.4	3.6	21.4
商業		26	30.8	61.5	7.7	23.1	26	50.0	46.2	3.8	46.2	26	34.6	57.7	7.7	26.9
建設業		20	30.0	70.0	0.0	30.0	20	55.0	45.0	0.0	55.0	20	0.0	100.0	0.0	0.0
観光・サービス業		10	50.0	40.0	10.0	40.0	10	50.0	50.0	0.0	50.0	10	50.0	50.0	0.0	50.0

回答全社：業況判断DIの推移（当金庫の調査開始から）



調査概要

DI調査:業況などが「好転」と答えた企業割合から「悪化」と答えた企業割合を引いた数値。

①調査期間　2025年7月。
②調査内容　「2025年7月時点」の実績と、「3ヵ月前」と「前年同期」の業績比較および「3ヵ月後」の予想。
③調査方法　DI調査および約130社のヒアリング調査。
④DI回答数　163企業。
⑤回答率　　65.2%

	製造業	商　業	建 設 業	観光・サービス業	合　計
依　　頼　　数	160	40	30	20	250
回　　答　　数	107	26	20	10	163

Column vol.60

米雇用統計に思う

株式会社小宮コンサルタンツ CEO
小宮 一慶 氏

当社では、毎月初めに最新の景気指標を会員さん向けに配信しています。この景気指標については、実は毎月、米国の雇用統計が第一金曜日に発表されるので、それをもって当社の景気指標を更新しています。それほど重要な指標なのです。中でも非農業部門の雇用増減数は世界のエコノミストたちが注目している数字で、数か月平均で月に15万人程度増加していると、米景気は比較的堅調だと判断されます。

この非農業部門の雇用の増減数は、解雇が比較的簡単に行われる米国では、かなり景気に敏感に反応する数字です。とても極端な例ですが、コロナの蔓延が本格的になった2020年4月には、この数字が一気に2047万人減少しました。ひと月で、雇用が10%以上失われたのです。このように、非農業部門の雇用数の増減は、米国景気を如実に反映するので、世界中のエコノミストたちが注目しているのです。

そして最新の雇用統計の発表にトランプ大統領が噛みつきました。2か月前までさかのぼって数価は改訂されるのですが、表にあるように、先月7月4日に発表された数字では、5月は14.4万人、6月が14.7万人でしたが、8月1日発表の改定値では5月が1.9万人、6月が1.4万人と大幅に減少し、そして新たに発表された7月の数字は7.3万人と、振るわないものでした。先にも述べたように毎月15万人程度増加していれば経済はある程度順調なのですが、先月までは巡航スピードだと思われていた米国経済に、急に暗雲が垂れ込めた感じです。

米非農業部門雇用増減数

	7月4日発表分	8月1日発表分
2025年1月	11.1	11.1
2月	10.2	10.2
3月	12.0	12.0
4月	15.8	15.8
5月	14.4	1.9
6月	14.7	1.4
7月	ー	7.3

（出所）労働省

この雇用数の改定は、速報値では反映されていなかった数値を反映するものです。速報値は、前月の数字を翌月初めに発表するもので、やはり統計の精度に問題があることは以前から指摘されていました。もちろん、以前から改定は2か月前にさかのぼりずっと行われてきたことですが、今回の改定は世界の市場にも影響を与えるほどのものであったことも間違いありません。翌営業日の東京市場でも大きく株式相場が下がりました。

トランプ大統領は、この改定を見て、統計の責任者をクビにすると発表し、新たな責任者が発表されました。よほど数字が気に入らなかったのでしょう。しかし、先程も述べたように、この統計は、これまでもずっと同じパターンで発表されてきたもので、このトランプ氏の解任行動については、内外から強い批判が出ています。企業経営者が決算が気に入らないので、会計士や税理士をクビにするといっているのと同じです。

私は、この一連の動きを見て、いくつかのことを思いました。ひとつは、マクロ的に見て米国経済はそれほど強くないことが分かったことです。その後発表された7月のインフレ率が6月と同じ2.7%だったこともあり、9月のFRB（中央銀行）のFOMC（連邦公開市場委員会；日銀の政策決定会合に相当）では、高い確率で現状4.25～4.50%の政策金利の引き下げが行われると予想できます。トランプ大統領は、もともとFRBのパウエル議長に対して金利の引き下げを強く要求してきました。ベッセント財務長官は9月の0.5%の利下げを主張しています。

一方、日本のインフレ率は3%台で高止まりしており、日銀は現状0.5%の政策金利を上昇させる可能性があります。いずれにしても、日米金利差は縮まります。

もうひとつ思ったことは、数字が気に入らないからと、その数字を作成している責任者をクビにするというのは、限度を超えた行動であり、一部の熱烈な信奉者を除いては、トランプ氏の支持率に逆に悪影響だろうということです。

これに関連して、先程、決算が気に入らないので、会計士や税理士を解任する経営者の話をしましたが、私は、経営コンサルタントを長くやっており、粉飾をした決算書を何度か見たことがあります。経営者が税理士と組んで、銀行からの融資を得るためなどに粉飾をしていたのです。もちろん、ほとんどの経営者や税理士は粉飾などの不正をしませんが、全くゼロではないのです。

これと比べると、もちろん許されることではありませんが、トランプ氏の行動は、まだ粉飾までは至っておらず、粉飾をする経営者よりも罪は軽いかなとも感じました。どこかの国のように、経済統計の粉飾が米国でも行われないことを願うばかりです。

諏訪信用金庫アプリ　ダウンロードはこちら→

スマートフォンから簡単に**新規口座開設**や**残高照会**、**入出金明細の確認**などができます。登録は無料です。

Download on the App Store　GET IT ON Google Play

諏訪信用金庫
SUWA SHINKIN BANK

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号
TEL　0266-23-4572
FAX 0266-24-4055

ホームページ　Instagram

「諏訪の景気動向」についてのご意見、ご要望は
諏訪信用金庫 総務部へ
TEL 0266-23-4567